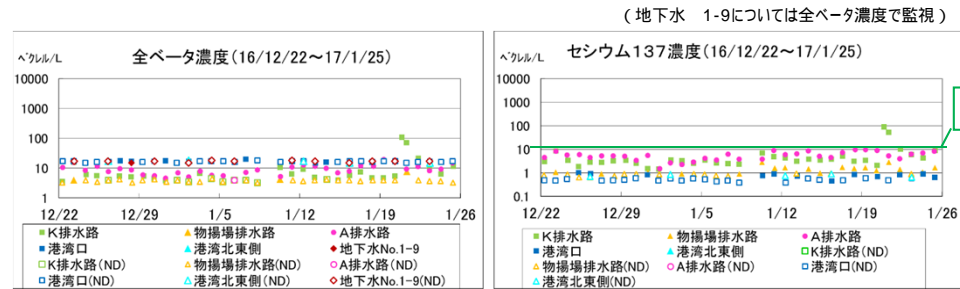


- 前回(12月22日)以降のデータ公開数は約9,200件
前回以降、「周辺の放射性物質の分析結果」「日々の放射性物質の分析結果」のデータ約9,200件を公開しました。
- 1号機建屋カバー壁パネル取外し完了 敷地内ダスト(粉じん)濃度は安定
1号機では、原子炉建屋カバー解体工事において、屋根パネル取外し(2015年10月5日)以降、ダスト飛散防止対策として散水設備の設置、崩落屋根上の小ガレキ吸引、飛散防止剤散布などを経て、2016年9月13日より壁パネルの取外しを開始し、11月10日に最終18枚の取外しが完了し、オペフロ調査を実施しています。これまで、敷地境界を含め、敷地内ダストモニタのダスト濃度に有意な変動は確認されていません。今後も、飛散抑制対策の実施とともにダスト濃度の監視をしっかりと継続していきます。
- 港湾内海水の放射性物質濃度は低い濃度で安定
先月以降、降雨が少ないこともあり、港湾内海水の放射性物質濃度は、低い濃度を維持しています。先月26日には、港湾内海底土の被覆作業が終了しました。
なお、2016年11月22日の地震にともなう津波によって損傷した、港湾内のシルトフェンスについては、1月25日に復旧が完了しました。
引き続き港湾内の水質を監視していきます。

A 水(海水、排水路、地下水等)

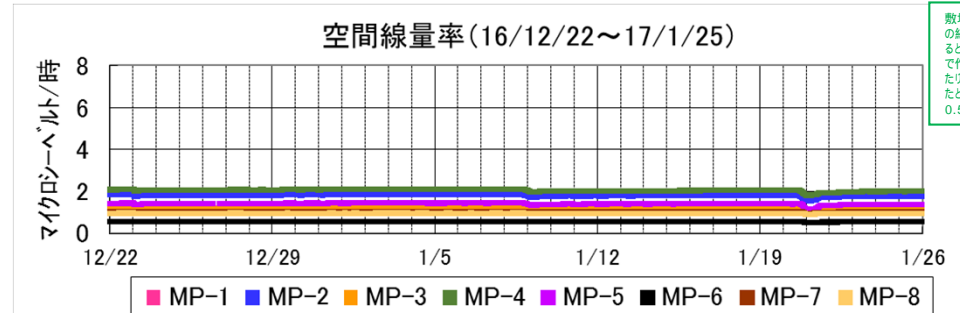
- K排水路では、降雨による、セシウム濃度、全濃度の一時的な上昇が発生。
- セシウム137は、K排水路を除き概ねWHO(世界保健機関)飲料水基準を下回った。



全ベータとは、ベータ線を放出する全ての放射性物質。ストロンチウム、コバルト等が代表的。セシウムも含まれる。
(ND)は、不検出との意味で、グラフには検出下限値を記載。
1/9は悪天候のため欠測。

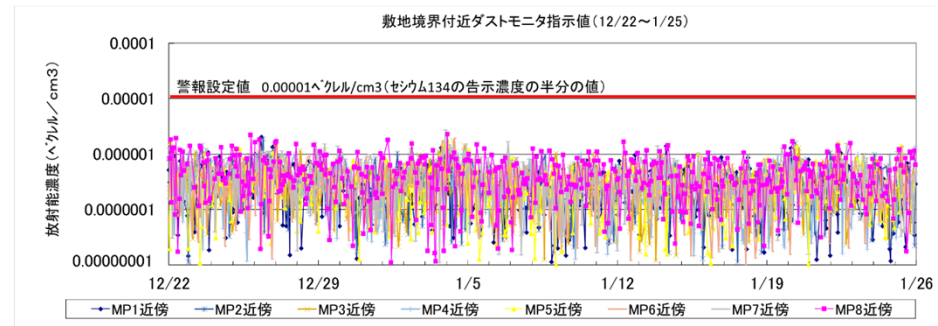
B 空間線量率(測定場所の放射線の強さ)

- 降雨による一時的な線量率低下が何度か見られたが、低いレベルで安定。

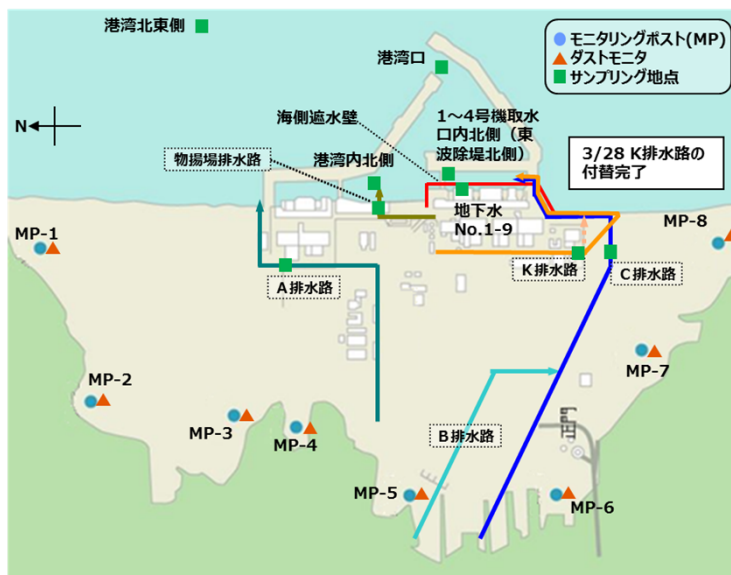
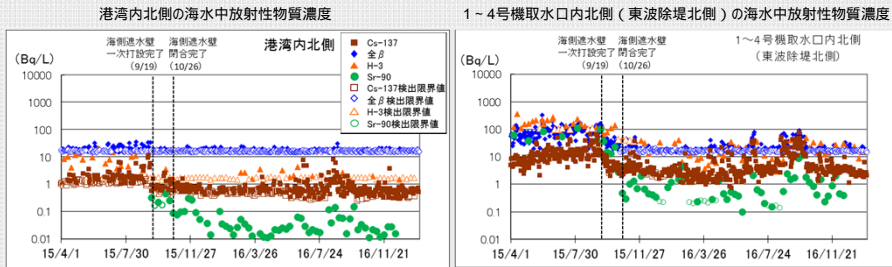


C 空気中の放射性物質

- 大きな上昇はなく、低濃度で安定。



告示濃度とは、法令に基づき国が排出を認める濃度。国内の原子力施設共通の基準。

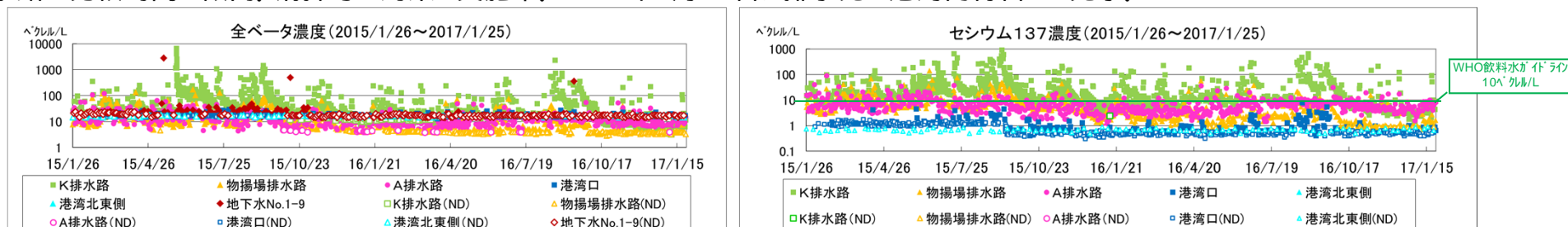


データ採取位置図(右のA、B、C等に対応するポイント)

放射線データの概要 過去の状況

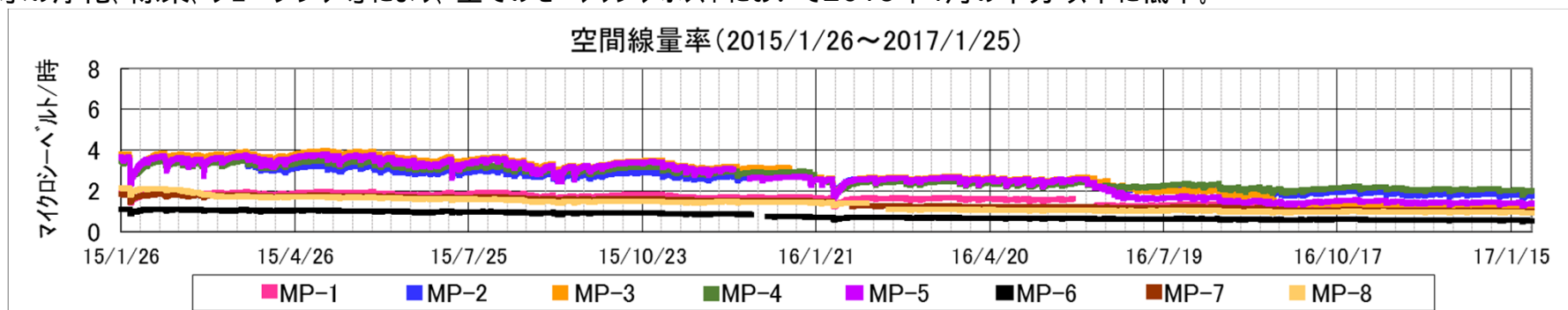
A 水（海水、排水路、地下水等）

- ・港湾口は低水準で安定。セシウム137はWHO飲料水基準未滿。
- ・K排水路は比較的高い傾向。清掃等の対策を実施中。2016年3月28日に排水先の港湾内付替えを完了。



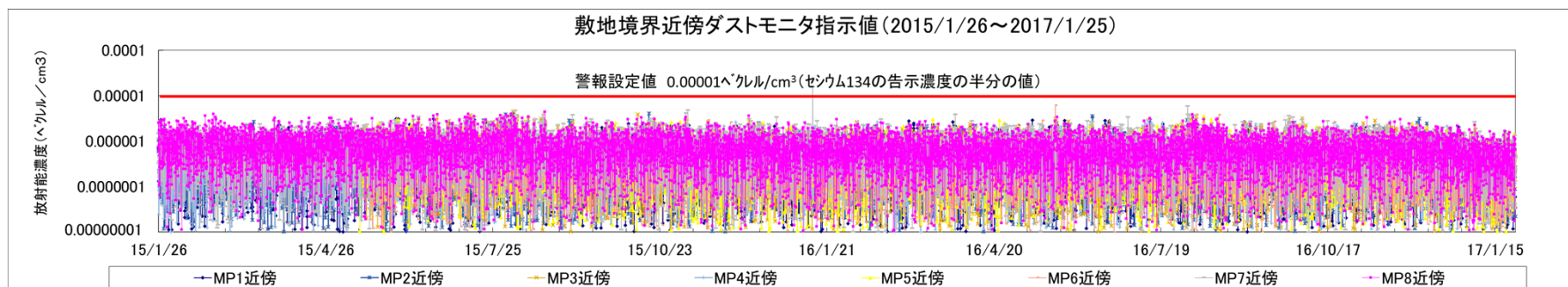
B 空間線量率

- ・汚染水の浄化、除染、フェーシング等により、全てのモニタリングポストにおいて2013年4月の半分以下に低下。



C 空気中の放射性物質

- ・ダストの濃度は、2016年1月13日のMP-7の一時的上昇を除き、大きな上昇は無く、低濃度で安定。



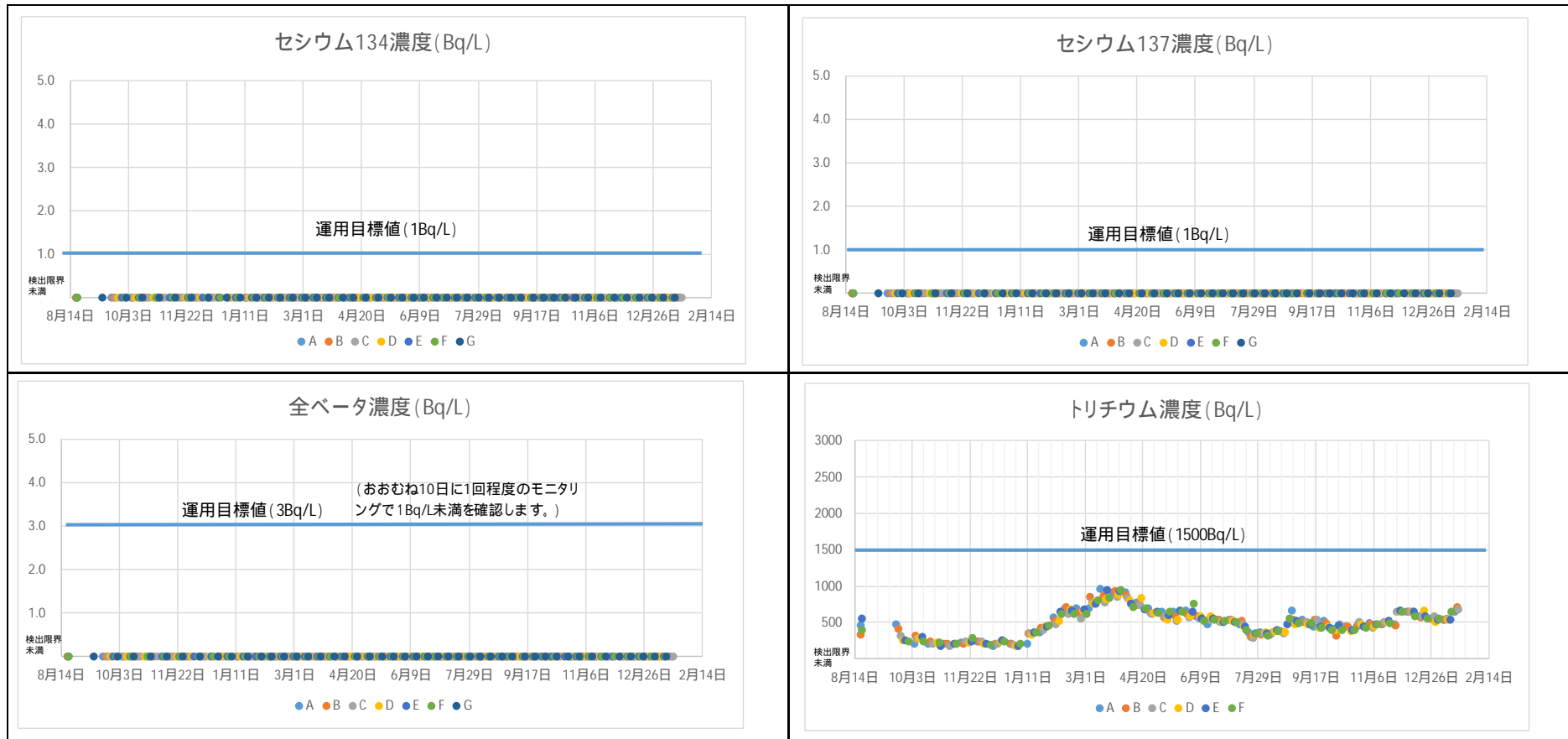
・MP3,5,6近傍は2015年5月14日より、測定開始。

サブドレン・地下水ドレンによる地下水のくみ上げと分析

分析結果・排水の実績

一時貯水タンクに貯留しているサブドレン・地下水ドレンの分析結果は、いずれも運用目標値を下回っていることを確認しました。同じサンプルを第三者機関にて分析を行い、運用目標値を下回っていることを確認して、2015年9月14日から2017年1月24日までに合計320回、265,031m³を排水しました。

一時貯水タンクの分析結果（当社分析値）



サブドレン・地下水ドレンの分析結果の詳細については、<http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html#anc01sd>をご覧ください。

2号機燃料取り出しに伴う周辺ヤード整備による線量低減について

- 2号機原子炉建屋からの燃料取り出しに向けた周辺ヤード整備において、2015年11月末までに2号機周辺の建屋を飛散防止材散布や散水等を実施しながら解体。2015年12月から2号機周辺の路盤に砕石敷設（厚1,200mm）やアスファルト舗装（厚100mm）、鉄板敷設（厚40mm）などを施し、2016年11月末に路盤整備を完了。
- 路盤整備前の2号機西側ヤードは平均で0.27mSv/hあった線量は、路盤整備後は0.11mSv/hに低減。
- 今後も工事の進捗を踏まえ、路盤整備エリアを拡大予定。



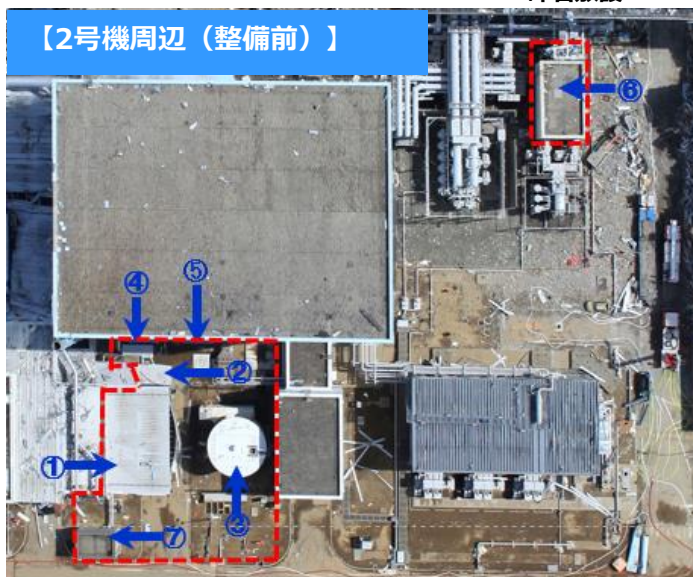
砕石敷設



アスファルト舗装



鉄板敷設



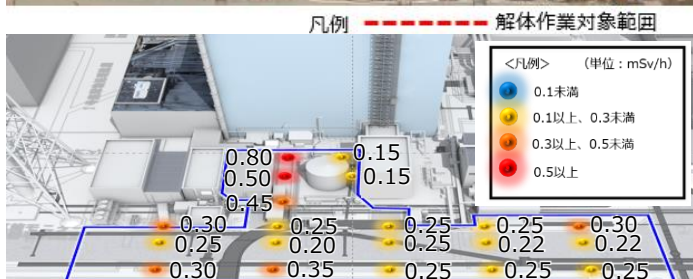
【2号機周辺（整備前）】



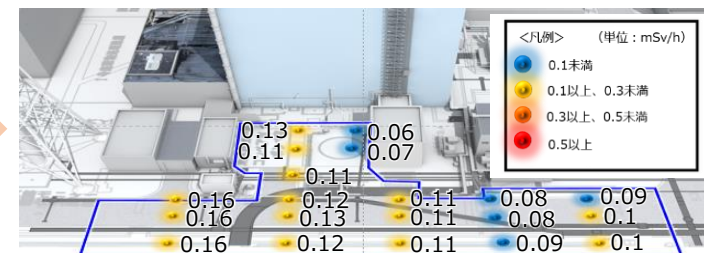
【2号機周辺（整備後）】



廃液サージタンク解体中



※青線内：西側ヤード路盤整備範囲 Ave.0.27mSv/h (2015.4.23 1F-2SFP燃料取出関連JVにて測定)



※青線内：西側ヤード路盤整備範囲 Ave.0.11mSv/h (2016.11.25 1F-2SFP燃料取出関連JVにて測定)